

政策 18 「産業基盤の整備による生産力の強化」

政策 18 「産業基盤の整備による生産力の強化」は、産業の生産性の向上と集積による生産力の強化が図られるよう農林水産業や製造業などに必要な道路や港湾、漁港等の生産基盤の整備を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 18 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 33.5%、低認知度群は 66.4%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性（41.8%）が女性（25.6%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（44.1%）が 65 歳未満（29.7%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域（42.5%）が 9.0 ポイント、栗原圏域（39.6%）が 6.1 ポイント、大崎圏域（39.2%）が 5.7 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙台圏域（22.5%）が 11.0 ポイント、仙南圏域（23.3%）が 10.2 ポイント低い。

(%)

政策 18 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	2.9	30.6	33.5	51.7	14.7	66.4	100.0

性別	男性	3.7	38.1	41.8	47.7	10.5	58.2	100.0
	女性	2.3	23.3	25.6	55.9	18.5	74.4	100.0
年齢別	65 歳未満	2.2	27.5	29.7	54.2	16.1	70.3	100.0
	65 歳以上	5.3	38.8	44.1	45.5	10.5	56.0	100.0

圏域別	仙台	0.9	21.6	22.5	61.5	16.0	77.5	100.0
	仙南	1.7	21.6	23.3	60.2	16.5	76.7	100.0
	大崎	4.4	34.8	39.2	46.3	14.5	60.8	100.0
	栗原	4.2	35.4	39.6	48.1	12.3	60.4	100.0
	登米	4.8	32.7	37.5	45.2	17.3	62.5	100.0
	石巻	2.7	26.1	28.8	55.4	15.8	71.2	100.0
	気仙沼・本吉	2.1	40.4	42.5	45.5	11.9	57.4	100.0

有効回答者数 1,604 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 49.5%、低認知度群は 50.5%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（83.3%）では 33.8 ポイント、気仙沼・本吉圏域（73.0%）では 23.5 ポイント、栗原圏域（71.4%）では 21.9 ポイント、石巻圏域（57.2%）では 7.7 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙台圏域（41.4%）では 8.1 ポイント、大崎圏域（43.5%）では 6 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 64.2%、低認知度群は 35.8%である。

(%)

政策 18 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	4.5	45.0	49.5	42.3	8.2	50.5	100.0	
圏 域 別	仙台	1.7	39.7	41.4	48.3	10.3	58.6	100.0
	仙南	5.5	40.0	45.5	41.8	12.7	54.5	100.0
	大崎	3.8	39.7	43.5	50.0	6.4	56.4	100.0
	栗原	0.0	71.4	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	8.3	75.0	83.3	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	14.3	42.9	57.2	33.3	9.5	42.8	100.0
	気仙沼・本吉	8.1	64.9	73.0	27.0	0.0	27.0	100.0

有効回答者数 331 名

学識者等全体	7.5	56.7	64.2	31.3	4.5	35.8	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

2. 政策 18 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 63.3%、低関心度群は 36.7%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（72.2%）が女性（54.9%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（71.6%）が 65 歳未満（60.3%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域（75.1%）では 11.8 ポイント、栗原圏域（68.5%）では 5.2 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（54.1%）では 9.2 ポイント、仙南圏域（55.8%）では 7.5 ポイント低い。

(%)

政策 18 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	16.4	46.9	63.3	30.5	6.2	36.7	100.0

性別	男性	21.0	51.2	72.2	23.2	4.5	27.7	100.0
	女性	11.9	43.0	54.9	37.4	7.7	45.1	100.0
年齢別	65 歳未満	13.6	46.7	60.3	33.4	6.3	39.7	100.0
	65 歳以上	23.9	47.7	71.6	22.7	5.8	28.5	100.0

圏域別	仙台	13.4	48.8	62.2	33.2	4.6	37.8	100.0
	仙南	14.9	40.9	55.8	36.6	7.7	44.3	100.0
	大崎	18.9	44.6	63.5	32.2	4.3	36.5	100.0
	栗原	17.6	50.9	68.5	26.2	5.2	31.4	100.0
	登米	13.1	47.7	60.8	31.8	7.5	39.3	100.0
	石巻	13.0	41.1	54.1	36.8	9.2	46.0	100.0
	気仙沼・本吉	22.0	53.1	75.1	19.5	5.4	24.9	100.0

有効回答者数 1,635 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 69.0%、低関心度群は 31.0%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(100.0%)では 31.0 ポイント、石巻圏域(90.5%)
では 21.5 ポイント、気仙沼・本吉圏域(79.0%)では 10.0 ポイント、登米圏域(75.0%)
では 6.0 ポイント高い。

仙南圏域(63.6%)では、回答者全体と比較して 5.4 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 83.6%、低関心度群は 16.4%である。

(%)

政策 18 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	15.4	53.6	69.0	27.7	3.3	31.0	100.0	
圏 域 別	仙台	12.0	53.0	65.0	30.8	4.3	35.1	100.0
	仙南	12.7	50.9	63.6	32.7	3.6	36.3	100.0
	大崎	11.7	54.5	66.2	29.9	3.9	33.8	100.0
	栗原	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	25.0	50.0	75.0	25.0	0.0	25.0	100.0
	石巻	38.1	52.4	90.5	4.8	4.8	9.6	100.0
	気仙沼・本吉	23.7	55.3	79.0	21.1	0.0	21.1	100.0

有効回答者数 332 名

学識者等全体	34.3	49.3	83.6	13.4	3.0	16.4	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

3. 政策 18 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 38.0%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 33.7%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 75.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 28.7%と推定できる。

政策 18「産業基盤の整備による生産力の強化」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	20.3	(79.7)
満足度 60点未満の割合		58.3
要検討領域にある回答者全体の割合		38.0

有効回答者数；重視度 1,605人、満足度 1,584人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策18重視度	政策18満足度
度数	有効	1605	1584
	欠損値	116	137
平均値		69.95	51.90
平均値の標準誤差		.441	.431
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.670	17.142
分散		312.217	293.864
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	16.5	(83.5)
満足度 60点未満の割合		50.2
要検討領域にある回答者全体の割合		33.7

有効回答者数；重視度 334人、満足度 333人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策18重視度	政策18満足度
度数	有効	334	333
	欠損値	4	5
平均値		70.91	54.83
平均値の標準誤差		.853	.808
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	60
標準偏差		15.581	14.743
分散		242.782	217.367
範囲		90	80
最小値		10	10
最大値		100	90
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	75.00	60.00
	75	80.00	65.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	75.0	60.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	85.0	65.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

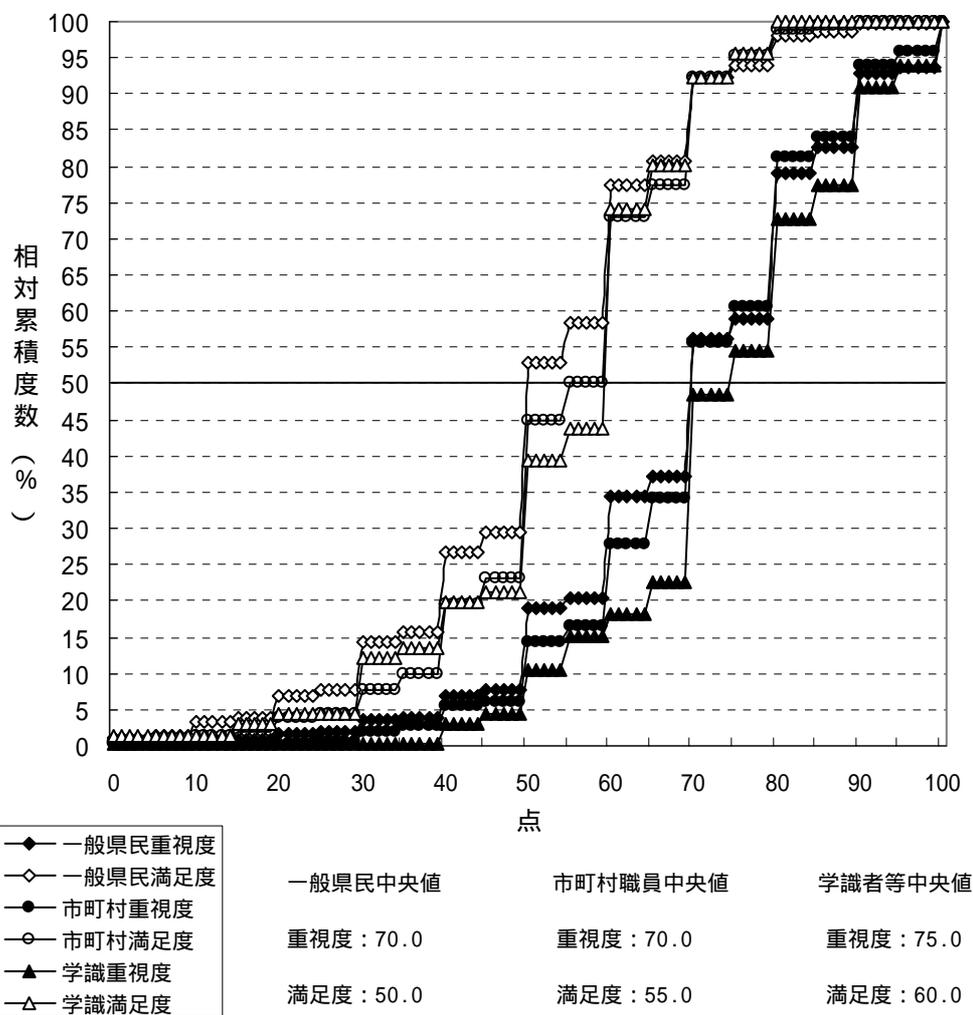
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	15.2	(84.8)
満足度 60点未満の割合		43.9
要検討領域にある回答者全体の割合		28.7

有効回答者数；重視度 66人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策18重視度	政策18満足度
度数	有効	66	66
	欠損値	3	3
平均値		74.39	54.77
平均値の標準誤差		1.815	1.846
中央値		75.00	60.00
最頻値		70	60
標準偏差		14.742	14.998
分散		217.319	224.948
範囲		60	65
最小値		40	15
最大値		100	80
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	70.00	54.00
	50	75.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	65.00

「政策18 産業基盤の整備による生産力の強化」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性(10.0 点)が女性(7.5 点)よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 41.7%、女性 34.5%と推定できる。

中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

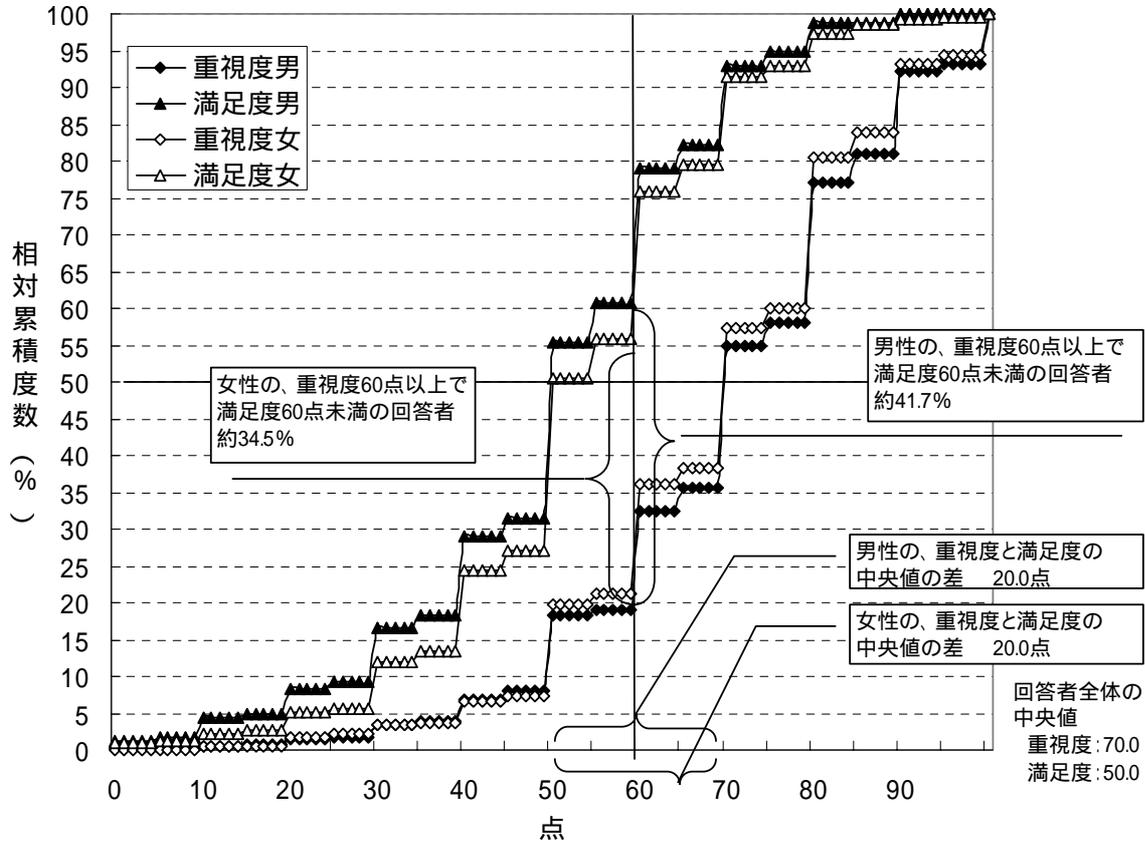
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	7.5

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	19.1 (80.9)	21.3 (78.7)
満足度 60 点未満の割合	60.8	55.8
要検討領域にある回答者全体の割合	41.7	34.5

政策 18「産業基盤の整備による生産力の強化」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策18重視度	政策18満足度
度数	有効	765	756
	欠損値	38	47
平均値		70.55	50.62
平均値の標準誤差		.644	.638
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.813	17.533
分散		317.303	307.403
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策18重視度	政策18満足度
度数	有効	821	810
	欠損値	75	86
平均値		69.46	53.25
平均値の標準誤差		.610	.583
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.481	16.601
分散		305.590	275.591
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満（70.0 点）が 65 歳以上（75.0 点）よりも低い。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（55.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 37.9%、65 歳以上 38.0%と推定できる。

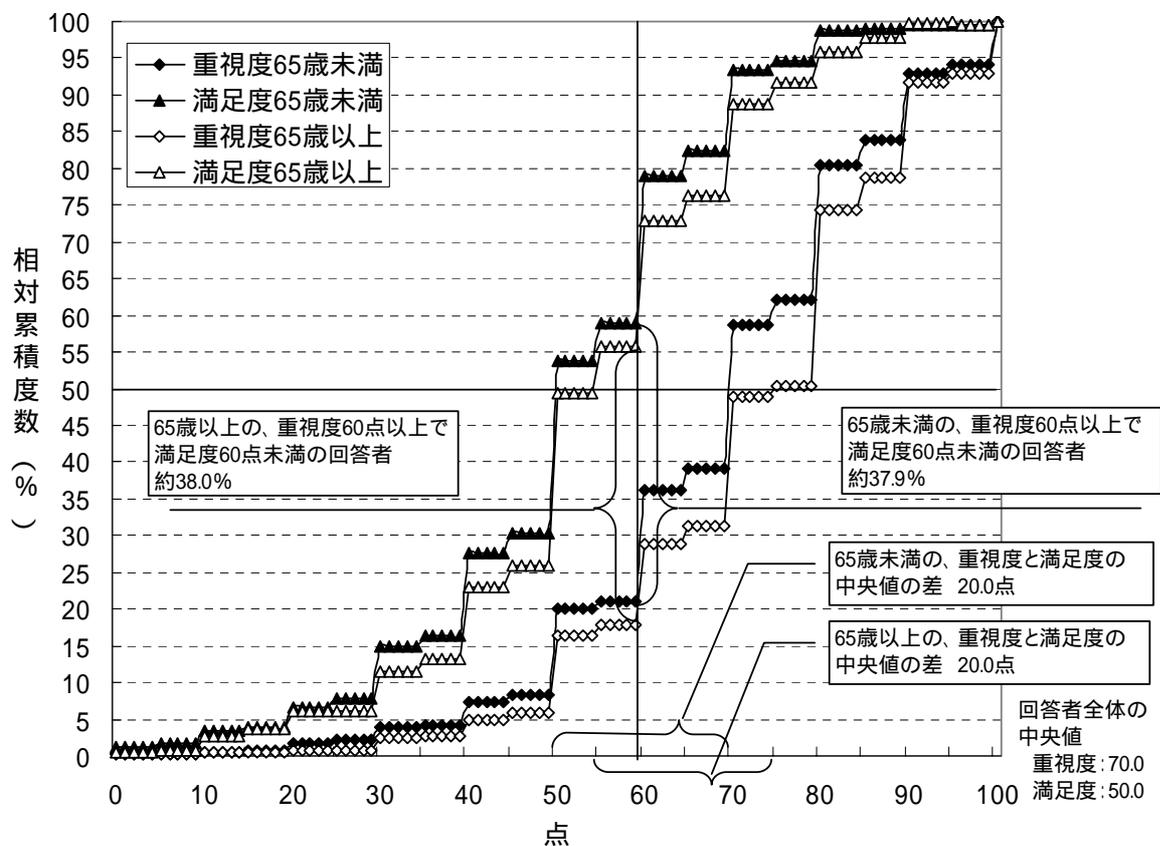
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	75.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	21.1 (78.9)	17.8 (82.2)
満足度 60 点未満の割合	59.0	55.8
要検討領域にある回答者全体の割合	37.9	38.0

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策18重視度	政策18満足度
度数	有効	1184	1173
	欠損値	56	67
平均値		69.10	51.36
平均値の標準誤差		.517	.497
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.792	17.014
分散		316.569	289.468
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策18重視度	政策18満足度
度数	有効	400	391
	欠損値	57	66
平均値		72.54	53.93
平均値の標準誤差		.850	.872
中央値		75.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.995	17.243
分散		288.846	297.305
範囲		90	95
最小値		10	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	65.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、気仙沼・本吉圏域(80.0点)が回答者全体(70.0点)よりも10ポイント高い。

満足度の中央値は、大崎圏域(55.0点)が回答者全体(50.0点)よりも5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(15.0点)が回答者全体(10.0点)よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、大崎圏域(15.0点)、栗原圏域(12.5点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、登米圏域(6.3点)、石巻圏域(5.0点)の2圏域が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、気仙沼・本吉圏域(80.0点)が回答者全体(70.0点)よりも10ポイント、登米圏域(77.5点)が7.5ポイント、石巻圏域(75.0点)が5ポイント高い。

満足度の中央値は、栗原圏域(65.0点)が回答者全体(55.0点)よりも10ポイント、大崎圏域(60.0点)、登米圏域(60.0点)の2圏域が5ポイント高く、石巻圏域(50.0点)、気仙沼・本吉圏域(50.0点)の2圏域が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、石巻圏域(12.5点)、気仙沼・本吉圏域(10.6点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、大崎圏域(8.8点)、登米圏域(6.9点)の2圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(15.0点)、登米圏域(12.5点)、大崎圏域(10.0点)、気仙沼・本吉圏域(10.0点)の4圏域が回答者全体(7.5点)よりも大きく、仙南圏域(5.0点)、栗原圏域(5.0点)の2圏域が小さい。

政策 18「産業基盤の整備による生産力の強化」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	20.0	20.0	30.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	50.0	50.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	10.0	10.0	20.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	70.0	65.0	62.5	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	10.0	15.0	17.5	20.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	15.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	15.0	12.5	6.3	5.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	77.5	75.0	80.0
	満足度	55.0	57.5	55.0	60.0	65.0	60.0	50.0	50.0
	かい離	15.0	12.5	15.0	10.0	5.0	17.5	25.0	30.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0	62.5	60.0	70.0	65.0	68.8
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	60.0	43.8	30.0	40.0
	かい離	10.0	10.0	10.0	12.5	0.0	26.3	35.0	28.8
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	83.8	90.0	90.0
	満足度	65.0	65.0	60.0	70.0	70.0	68.8	60.0	60.0
	かい離	15.0	15.0	20.0	10.0	10.0	15.0	30.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	8.8	10.0	6.9	12.5	10.6
	満足度	7.5	7.5	5.0	10.0	5.0	12.5	15.0	10.0

4. 政策 18 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 6 「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」(30.3%)
である。

第 2 位は施策 1 「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」(21.2%) である。

第 3 位は施策 5 「戦略的な企業誘致」(20.4%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 5 「戦略的な企業誘致」(37.0%) である。

第 2 位は施策 6 「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」(28.1%)
である。

第 3 位は施策 1 「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」(16.7%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 6 「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」(39.4%)
である。

第 2 位は施策 5 「戦略的な企業誘致」(33.3%) である。

第 3 位は施策 2 「漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備」(10.6%) である。

性別

一般県民では、

第 1 位は、男性女性とも、回答者全体と同じである。

第 2 位は、男性では施策 5 「戦略的な企業誘致」、女性では施策 1 「ほ場整備等農業に必
要な基盤の整備」である。

第 3 位は、男性では施策 1 「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」、女性では施策 5 「戦
略的な企業誘致」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満では施策 6 「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤
の整備」、65 歳以上では施策 1 「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 5 「戦略的な企業誘致」、65 歳以上では施策 6 「物流、情報
通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 1 「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」、65 歳以上では施策 2 「漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備」と施策 5 「戦略的な企業誘致」である（65 歳以上では施策 2 と施策 5 が共に第 3 位になっている）。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、仙台、仙南、栗原、登米、石巻の 5 圏域では施策 6 「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」、大崎圏域では施策 1 「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」、気仙沼・本吉圏域では施策 2 「漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備」である。

第 2 位は、仙台、大崎、石巻の 3 圏域では施策 5 「戦略的な企業誘致」、仙南、栗原、登米の 3 圏域では施策 1 「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」、気仙沼・本吉圏域では施策 6 「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」である。

第 3 位は、仙南、栗原、登米、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 5 「戦略的な企業誘致」、仙台圏域では施策 1 「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」、大崎圏域では施策 6 「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」、石巻圏域では施策 2 「漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備」である。

市町村職員では、

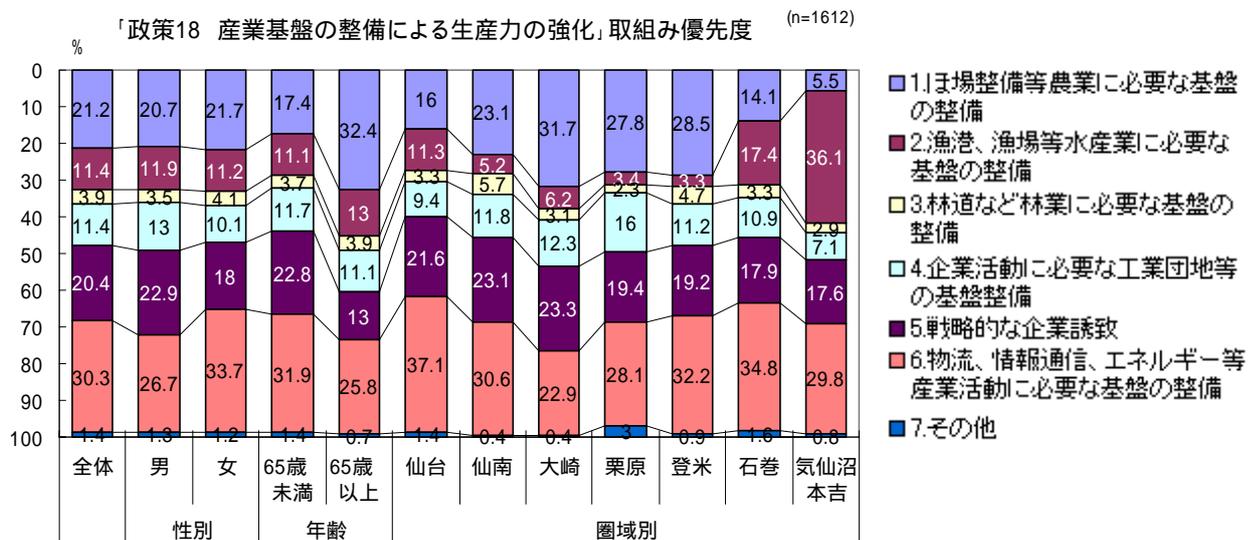
第 1 位は、仙台、大崎、栗原、登米の 4 圏域では施策 5 「戦略的な企業誘致」、仙南、石巻の 2 圏域では施策 6 「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」、気仙沼・本吉圏域では施策 2 「漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備」である。

第 2 位は、仙台、栗原、登米、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 6 「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」、仙南、石巻の 2 圏域では施策 5 「戦略的な企業誘致」、大崎、栗原の 2 圏域では施策 1 「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」である（栗原圏域では施策 1 と施策 6 が共に第 2 位になっている）。

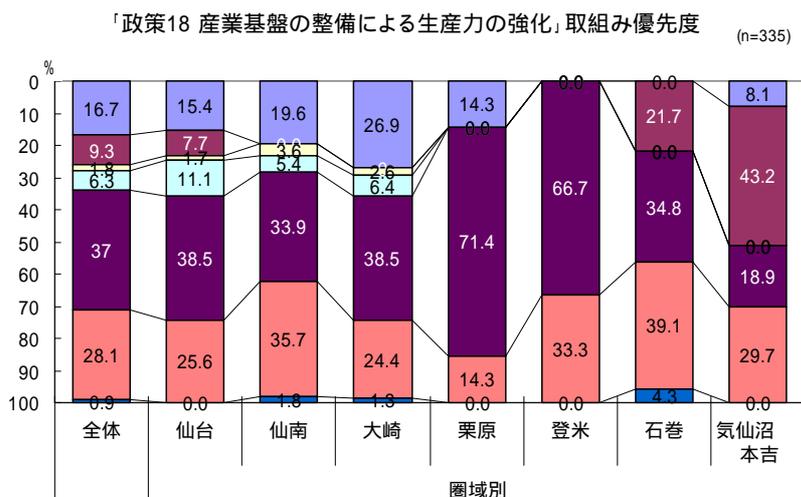
第 3 位は、仙台、仙南、登米の 3 圏域では施策 1 「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」、大崎圏域では施策 6 「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」、石巻圏域では施策 2 「漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備」、気仙沼・本吉圏域では施策 5 「戦略的な企業誘致」である。

政策 18 「産業基盤の整備による生産力の強化」

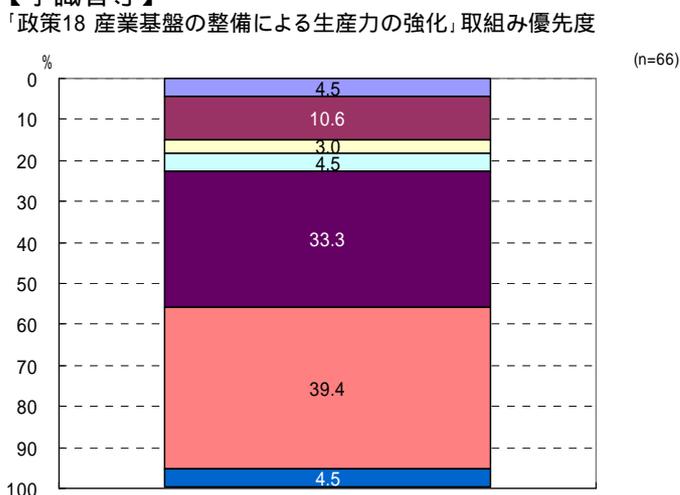
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 18 「産業基盤の整備による生産力の強化」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.ほ場整備等農業に必要な基盤の整備	21.2	20.7	21.7	17.4	32.4	16.0	23.1	31.7	27.8	28.5	14.1	5.5
2	2.漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備	11.4	11.9	11.2	11.1	13.0	11.3	5.2	6.2	3.4	3.3	17.4	36.1
3	3.林道など林業に必要な基盤の整備	3.9	3.5	4.1	3.7	3.9	3.3	5.7	3.1	2.3	4.7	3.3	2.9
4	4.企業活動に必要な工業団地等の基盤整備	11.4	13.0	10.1	11.7	11.1	9.4	11.8	12.3	16.0	11.2	10.9	7.1
5	5.戦略的な企業誘致	20.4	22.9	18.0	22.8	13.0	21.6	23.1	23.3	19.4	19.2	17.9	17.6
6	6.物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備	30.3	26.7	33.7	31.9	25.8	37.1	30.6	22.9	28.1	32.2	34.8	29.8
7	7.その他	1.4	1.3	1.2	1.4	0.7	1.4	0.4	0.4	3.0	0.9	1.6	0.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.ほ場整備等農業に必要な基盤の整備	16.7	15.4	19.6	26.9	14.3	0.0	0.0	8.1
2	2.漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備	9.3	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	21.7	43.2
3	3.林道など林業に必要な基盤の整備	1.8	1.7	3.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
4	4.企業活動に必要な工業団地等の基盤整備	6.3	11.1	5.4	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0
5	5.戦略的な企業誘致	37.0	38.5	33.9	38.5	71.4	66.7	34.8	18.9
6	6.物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備	28.1	25.6	35.7	24.4	14.3	33.3	39.1	29.7
7	7.その他	0.9	0.0	1.8	1.3	0.0	0.0	4.3	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.ほ場整備等農業に必要な基盤の整備	4.5
2	2.漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備	10.6
3	3.林道など林業に必要な基盤の整備	3.0
4	4.企業活動に必要な工業団地等の基盤整備	4.5
5	5.戦略的な企業誘致	33.3
6	6.物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備	39.4
7	7.その他	4.5

